

# 研究戦略骨子(修正案)の研究項目と 対応する研究事業

		委託プロジェクト研究		異分野融合事業	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
		研究へのニーズはあるが27年度の取り扱いが明確となっていないもの			
1. 農業を魅力ある産業にするための「収益力向上技術」	多収への挑戦	大豆・麦等の水田輪作及び畑作物の低収要因や輪作体系再検証と対応技術の開発			
		大豆・麦等の多収に向けた品種・栽培体系の開発、加工・業務用向け良食味多収米品種の開発及び栽培体系の確立			
		水田における園芸作物等との複合経営を可能とする高品質・多収品種の開発及び栽培技術、出荷省力化技術の確立			
		園芸作物の高品質・多収品種の開発及び栽培技術の確立			
		水田輪作経営全体の収益を最大にする地下水水位制御等の管理技術、栽培体系の確立			
	強みのある農産物づくりへの挑戦	新品種・新技術の開発・保護・普及の方針で示した消費者や実需者の求める農産物・食品の開発等によるマーケットイン型農産物生産体制の構築	消費者や実需者のニーズを的確に把握するシステム、生産者から消費者に至るまでのフードチェーンを構築する技術の開発	世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証	機能性農産物・食品による脳機能活性化に着目した科学的エビデンスの獲得及び次世代機能性農林水産物・食品の開発、等
		花きの競争力強化に向け、品質保証期間の延長、病害抵抗性等民間等の育種を下支えする基盤技術の開発			
		環境保全型農業を安定的に実施するための生産技術の開発及び生態系に配慮した手法の開発	生産から消費までのコールドチェーン等低コストな鮮度保持流通システムの開発		持続可能な農業生産のための新たな植物保護技術の開発、等
	資材高騰への挑戦	土壌の生物化学的性質の簡易・迅速な分析技術、資材費低減技術の確立			
		地域毎に適した多収性飼料用米品種、多収・高栄養栽培体系、飼料用米による畜産物の品質向上・安定生産技術の開発			
		国産飼料穀物や牧草等の生産・利用技術の高度化、飼料調製技術の開発、エコフィード利用技術の高度化・低コスト化			

2. 新しい農業スタイルを提案する  
「生産流通システム革新技術」

		委託プロジェクト研究		革新的技術緊急展開事業 ロボット革命実現化事業	戦略的イノベーション 創造プログラム(SIP)
		研究へのニーズはあるが27年度の 取り扱いが明確となっていないもの			
省力、大規模化への挑戦	米の直播栽培における地域毎の課題の再検証と対応技術の開発			農業生産法人が実証するスマート水田農業モデルIT農機・圃場センサー・営農可視化・技能継承システムを融合した革新的大規模稲作営農技術体系の開発実証、等	多数圃場を効率的に管理する営農管理システムの開発、等
	畦畔の雑草管理や水管理作業等の機械管理を容易化する産地基盤の整備手法及びロボット技術等による省力体系の開発			青切り用調製機を導入したタマネギの省力収穫・調製体系の確立、等	
	果樹生産の省力化、早期成園化のための樹形の統一による栽培管理技術の開発、機械化体系の確立			もも等の柔らかい果実の集出荷施設において、選果ラインを無人ロボット化、等(H27要求中(事例))	
農業への挑戦	害虫の飛来侵入・分布拡大予測技術の開発	高齢者による福祉農業等も視野に入れた快適かつバリアフリーな施設園芸の作業システム等の開発			作物生育、病害虫発生等のデータに基づき生産者へのアドバイスの提供が可能なシステム等高精度生産予測・提供システム等の開発
	農業用アシストスーツの適用範囲の拡大				
強みのある農村づくりへの挑戦	中山間地域における水田の複合経営への転換、生産性の飛躍的向上を可能とする多機能かんがいシステム等、基盤整備技術の開発	中山間地域における地域特産物・在来品種等を用いたブランド農産物の開発		ICTを用いたシカ、イノシシ、サルの防除、捕獲、処理一貫体系技術の実証、等	
	中山間地域における作物選択の自由度拡大を支援する低コストな生産基盤整備技術と地域生産、流通支援システムの開発	人口減少においても中山間地域の生産・流通等の機能の維持が可能な新たな農村システムの開発			
		中山間地域において、地域固有資源の評価及びこれらの整備技術の開発			
		中山間地域において、食品産業・観光業等との連携による地域資源を活用した6次産業化を加速する基盤技術の開発			
産への挑戦	個体情報分析等の新技術及びICTを活用した精密飼養管理技術の開発			効率的な家畜管理・草地管理法導入による公共牧場および繁殖農家の生産性向上技術の実証(耕作放棄地放牧支援システム技術の確立)、等	
	受胎率の向上、家畜の供用期間の延長による生涯生産性の向上				
	家畜ふん尿等処理における新たな悪臭低減技術の開発				

3. 異常気象に負けない産地をつくる  
「産地強靱化技術」

異常気象対応・温暖化適応への挑戦

委託プロジェクト研究		戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)
		研究へのニーズはあるが27年度取り扱いが明確となっていないもの
洪水、濁水等の被害予測・対策技術の開発		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">           気象情報及び作物生育モデルに基づく栽培管理支援・気象災害回避システムの開発         </div>
中長期的な温暖化予測に基づく将来の生育不良、品質低下等の被害回避・軽減技術の開発、適応品種の開発		
極端な高低温・病害虫の発生等のリスク評価、被害回避・軽減技術の開発		
温暖化に伴う栽培適地の移動、生産環境の変化等を踏まえた将来の栽培適地のマップ化		
異常気象に備え、豪雨に対するための生産基盤の改良等による排水・保水機能強化手法の開発		